

平成26年度 行政評価 施策カルテ

施策名	2 新規開業・新事業創出の促進
-----	-----------------

施策主管課	産業政策課	総合計画記載頁	135ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	17 地域産業の創造性・発展性を高める	政策の達成目標 (基本施策目標)	本市の農業、商業、工業において、相互に新たな関係や連携が生み出され、地域資源の有効活用や人材の交流が活発化して、地域産業の創造性・発展性が高まっています。
------	----------------------------------	----------------	---------------------	---------------------	-------------------------------------------------------------------------------

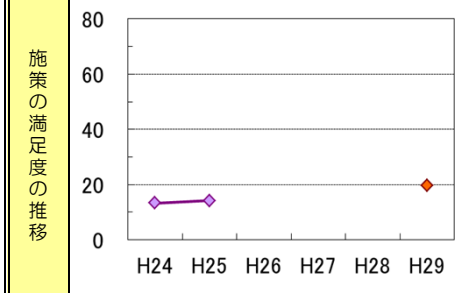
2 施策の取組状況

施策目標	市民や企業の時代のニーズを捉えた積極的な取組により、新規開業や新事業が創出されています。
------	----------------------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価
	指標1	起業家セミナー参加者数	単年度目標値	75	80	85	90	95			100	A	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	13.3%	14.2%		
現状値			72人	実績値	48	79													
目標値(H29)			100人	単年度の達成度	64.0%	98.8%													
指標2		単年度目標値								③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)								B	
		現状値	実績値																
		目標値(H29)	単年度の達成度																
指標3		単年度目標値								【参考】中核市等との水準比較	指標名(単位)	H24	H25	H26	H27	H28	H29		
		現状値	実績値																
		目標値(H29)	単年度の達成度																
指標4		単年度目標値									中核市平均	45.0	45.0						
		現状値	実績値																
		目標値(H29)	単年度の達成度																
指標5		単年度目標値									中核市での本市の順位	22位/41市中	22位/41市中						
		現状値	実績値																
		目標値(H29)	単年度の達成度																
指標6		単年度目標値									中核市平均								
		現状値	実績値																
		目標値(H29)	単年度の達成度																
指標7		単年度目標値									中核市での本市の順位								
		現状値	実績値																
		目標値(H29)	単年度の達成度																

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 減進型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (±5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (±5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調: (A評価が2つ以上 (C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	<ul style="list-style-type: none"> 2014年版の中小企業白書によれば、全国的に、新たに事業を起こそうとする「起業希望者」の数が、2012年が約84万人に留まり、15年前の1997年の約167万人から半減している。 また、日本再興戦略(2013年6月)によれば、既存の事業所数に対して新設された事業所の割合を示す「開業率」が、2012年は4.6%(栃木県:4.2%)と欧米と比べて低水準の状況にあることから、今後10年間において、欧米レベルの10%台になることを目標としている。 このような中、国においては、本年平成26年1月に産業競争力強化法を施行し、市区町村の役割として「地域の創業支援体制の強化」が明記されたところであり、本市においても、地域の創業支援機関と連携し、地域一体となった実効性のある創業支援体制を構築する必要がある。 	市民満足度	<ul style="list-style-type: none"> 長引く景気低迷で安全志向が強まり、積極的にリスクをとろうとする人が減っている状況にあることから、市民意識調査の満足度は低調な結果になっていると考えられる。 	総合評価	83点
施策指標	<ul style="list-style-type: none"> 起業家セミナーについては、本市と県産業振興センター、宇都宮商工会議所で実施しているが、全国的な景気低迷による先行きの不透明感から起業意欲が抑えられる傾向にあるものの、市ビジネスプランコンテストと連動したセミナーの開催や、利用を促す周知活動を積極的に実施してきたことなどにより、参加者数は前年度比約1.6倍の成果が得られた。 				概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象、★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(最大5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業※	事業が属する総合計画の構成事業名	事業内容		事業の進捗状況	H25事業費(千円)	開始年度	日本一施策事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	起業家養成事業	★	起業家精神の育成	大学生, 専門学校生, 一般社会人 ※特に若年者	アントレプレナーシップ(起業家精神)を養成するための講座を実施	計画どおり	1,992	H25		本事業を通じて起業家精神が高まった若者を, 実際の起業創業に繋げていくため, 前年度開催した起業家養成講座の修了生に対し, 継続的にアントレプレナーシップの喚起を促し, 宇都宮ベンチャーズと連携しながら, 各種ビジネスプランコンテスト参加への誘導・支援を行っていく。
2	チャレンジャーのまち うつのみや推進事業	○★	起業家の集積・成長支援	Uターン, Jターン, Iターンにより市内に移住し, 新たに起業した(しようとする)方	法人設立費用, 事業拠点費用, 生活拠点費用の一部を補助	計画どおり	2,190	H20	先駆的	優れたビジネスモデルを有するベンチャー企業の本市への誘致・集積を図るため, より効果的な手法等を検討しながら, 事業を継続していく。また, 新規申請の実績をあげるために, ビジネスプランコンテストと連携して周知するなど, 市外・県外起業家に対して積極的なPRを行う。
3	起業チャレンジャー発掘事業	★	起業家の集積・成長支援	新規制のあるビジネスプランを有する起業予定者, 起業後3年以内の方, 既存事業とは別に1年以内で新事業検討者	コンテスト実施, セミナーの開催等	計画どおり	1,878	H23		起業家の発掘・創出・育成, 並びに市外からの起業家の誘致を目的として, ビジネスプランコンテストを開催し, プランの作成からブラッシュアップ, 表彰までの支援を行っている。今年度は, さらに, コンテスト終了後に, 一次選考の可否に関わらず, 応募者へのフォローを充実させるため, フォロー体制の強化を図っていく。
4	宇都宮ベンチャーズ事業補助金	★	インキュベーション機能の充実	宇都宮ベンチャーズ(運営委員, 入居企業, ベンチャーズClub会員)	インキュベーション施設の運営(経営診断, 入居企業間の交流促進, 起業家の発掘等)	計画どおり	1,721	H15		起業家育成支援施設(宇都宮ベンチャーズ)の機能拡充と, 施設老朽化への対応として, 支援機関が集積している栃木県産業会館に移転を行うことに合わせて, ソフト面についても, 10年以上継続している各種事業(交流サロン, 経営診断, セミナー等)について, 時代の変化と起業トレンドにあわせた内容の見直し・拡充を図っていく。
5	産業振興機能強化事業(起業・創業相談窓口)	★	新事業創出の支援	起業予定者及び起業後間もない者	各種相談に対するアドバイスや専門機関・支援事業等の紹介等	計画どおり	1,927	H24		企画・構想の段階から, 事業化・拡大までの様々な段階に応じて支援をするため, 産業政策課窓口において, 中小企業診断士による相談窓口を開設しているが, 9月末で終了し, 10月より, 起業家育成支援施設の栃木県産業会館内への移転に伴い, 栃木県産業会館内へ移行し, 機能向上を図っていく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
<p>課題</p> <p>◆起業家の集積・成長支援については, 各種起業家支援事業により, 入口(起業家精神養成期)から出口(成長期)までの一貫した支援を行い, 各事業の相乗効果を発揮しながら, 起業しやすい環境整備に努めてきたが, これまでの支援策は, 起業家精神養成期や創業準備期, 創業期に重点を置いていたことから, これまでの取組などを十分に検証し, 創業期から成長期までを結び付ける実効性のある施策を検討し, 地域の起業者のモデルとなるような事業者を育成していくとともに, 他の支援機関との役割分担の整理などについても検討していく必要がある。</p> <p>◆インキュベーション機能の充実については, 本年10月の起業家育成支援施設の栃木県産業会館内への移転により, 特に栃木県産業会館内にある宇都宮商工会議所と円滑な連携が可能になることから, 起業家が抱える課題に対して迅速かつ多様に対応していくとともに, 他の支援機関とも横の連携強化を図っていく必要がある。</p>	<p>方向性</p> <p>〈施策全般〉 ◆新たなビジネスの発掘が地域の活性化に結びつくことから, 今後の起業の担い手となりうる若者や女性, 高齢者が起業しやすい環境を整えるとともに, 起業の入口(起業家精神養成期)から出口(成長期)までの支援策をオール宇都宮で総合的に展開していく。</p> <p>〈主要事業〉 ◆チャレンジャーのまち うつのみや推進事業 Uターン起業促進補助金の利用促進の周知に努めているが, 利用者は現状維持(継続2件)に留まっているため, 市外・県外起業家に対してのより効果的な事業周知手法の検討のほか, 類似事業である中心商業地出店等促進事業等との整合性を図りつつ, 事業の充実を図っていく。</p> <p>〈その他個別事業〉 ◆起業家養成事業 起業家養成講座の中で, 単位取得を目的としない一般の方々も参加できるよう, 場所や時間に配慮したフォーラム形式の公開講義を企画するなど, さらなるアントレプレナーシップの醸成を図っていく。 ◆起業チャレンジャー発掘事業 ビジネスプランコンテストの応募者の7割が市内からであることから, 本市の起業家育成支援施策の認知度を高めるため, 市外・県外へ広くビジネスプランコンテストを発信するなど, 全国から起業家を誘導する仕組みを検討していく。 ◆宇都宮ベンチャーズ事業 起業家育成支援施設への入居促進や起業家の発掘, 起業家が成長していける支援事業の実施, 環境づくりなど, 他の事業や関係機関と連携を図りながら, より効果的な支援事業に努めていく。 ◆産業振興機能強化事業(起業・創業相談窓口) これまで市役所内で起業・創業相談窓口を開設していたが, 本年10月から, 起業家育成支援施設の栃木県産業会館内への移転に伴い, 窓口を栃木県産業会館内へ移行し, より一層の相談機能の拡充を図っていく。</p>